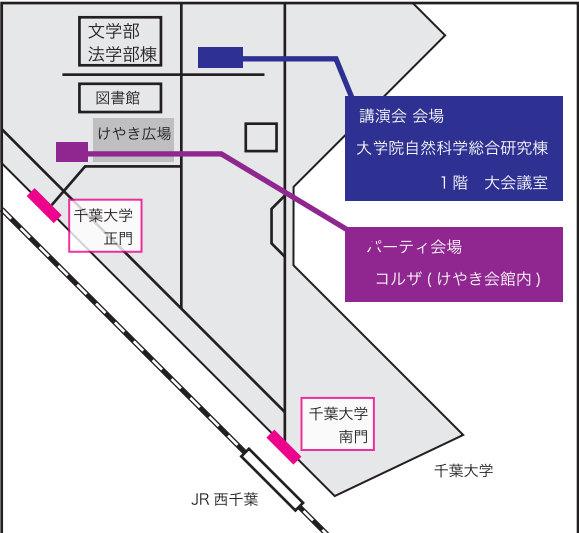


建築計画と 不動産制度を 連携させた 新しい分野の 発展を考える

07.10.06.Sat. 15:30～（受付 15:00 から）
千葉大学自然科学研究科 1 号館大会議室

「都市のストックとなる良質な住まいの実現」を目指して開発された、「スケルトン定借」（つくば方式）の取り組みに対し「2007 年日本建築学会賞（業績）」が授与されました。地主の縁を守ろうとする想いと住まい手の希望を両立した「風の杜」プロジェクト（2006）など、これまで数多くの成果を残してきました。そこには、特色ある建築・まちづくりの実現に向けて、法制度や経済の壁を乗り越えるための知恵が詰まっています。本シンポジウムでは最先端の研究者、実務家を論客に迎え、建築計画と不動産制度を連携させた、新しい実践・職能分野の発展を考えます。



小林秀樹（こばやしひでき）

- 1954 年 新潟県上越市生まれ
- 1977 年 東京大学工学部建築学科卒業
- 1985 年 設計事務所勤務を経て博士課程卒業
- 1987 年 建設省建築研究所
住宅計画研究室長等を歴任
- 2002 年 千葉大学工学部
都市環境システム学科助教授
- 2003 年 同教授

現在は、千葉大学大学院工学研究科に所属変更
専門は住宅政策、住民参加型の住まい・街づくり

- 受賞歴 -
- 日本不動産学会業績賞（1996）
- 都市住宅学会論文賞（1998）、同著作賞（2003）
- 日本建築学会賞（2007）

- 著書 -
- 「集住のなわばり学」「新・集合住宅の時代」
- 「スケルトン定借の理論と実践（共著）」
- 「住民主体の住環境整備（共著）」他

当日プログラム

- 15:00 ー 受付開始
- 15:30 ー 17:30 シンポジウム
- 小林秀樹記念講演
- パネルディスカッション
- パネリスト ・安藤正雄（千葉大学教授）
・甲斐徹郎
（チームネット代表取締役）
・小林秀樹
- コメンテーター ・鈴木成文（東京大学名誉教授）
- 司 会 ・森永良丙（千葉大学准教授）
- 18:00 ー 20:00 受賞記念パーティ

受賞記念パーティ

- 場所：コルザ（けやき会館内）
- 定員：80 人
- 費用：一般 3,000 円、学生 1,500 円

申込・問合わせ先

- 千葉大学大学院工学研究科 小林・森永研究室
（担当：青木，長沼）
- Tel & Fax：043-290-3308
- E-mail：h_kobayashi_lab@yahoo.co.jp